



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1328 2022年10月17日

10月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細はARIB ニュース No.1322 2022年9月5日を参照ください）。

ARIB からのお知らせ

CEATEC 2022 「5G スペシャルデーⅣ」開催のお知らせ

CEATEC 2022（開催期間：オンライン会場 2022年10月1日（土）～31日（月）、幕張メッセ会場 10月18日（火）～21日（金））において、「5G スペシャルデーⅣ」を10月19日（水）に開催しますのでお知らせいたします。

午前の部では「ローカル 5G 利活用 2022 ワークショップー利活用の広がり」と題して、産業界における事例紹介を行います。また、パネル討論では、「本音で語ろうローカル 5G の現状と展望ー経験者が語る「光が見えてきたローカル 5G」ー」をテーマに、ローカル 5G 普及促進への取組についてディスカッションします。

午後の部では、「5G の最新動向 2022 国際ワークショップ」と題して、前半は「アジアにおける商用化の最新動向」をテーマに中国、韓国、タイの各国における商用化への取組を紹介いたします。後半のパネル討論では「5G の利活用に向けた日本のデジタル戦略」をテーマに 5G が促すデジタル変革とグリーンイノベーションに着目し、ディスカッションします。

- 1 開催日時 2022年10月19日（水） 10:00～12:30、14:00～17:00
- 2 開催場所 オンライン（無料） 下記サイトから、参加申込みをお願いします。
URL : <https://www.ceatec.com/ja/>

3 カンファレンス概要

・10:00～12:30

「ローカル 5G 利活用 2022 ワークショップー利活用の広がり」と題して

【共催】 一般社団法人電波産業会（ARIB）

第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）

ローカル 5G 普及推進官民連絡会

一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)

【概要】 ローカル 5G 利活用に取り組む最前線の状況と課題や今後の展望

【URL】 <https://ceatec.com/ja/conference/detail.html?id=1979>

・ 14:00～17:00

「5G の最新動向 2022 国際ワークショップ

ーアジア地域の商用化への取組 (前半) ー

ー5G の利活用に向けた日本のデジタル戦略 (後半) ー」

【共催】 総務省

一般社団法人電波産業会 (ARIB)

第 5 世代モバイル推進フォーラム (5GMF)

【概要】 国内外の 5G 普及・展開の取組状況と 5G の利活用に向けた日本の戦略

【URL】 <https://ceatec.com/ja/conference/detail.html?id=1980>

4 プログラム 下記 5GMF ウェブサイトをご参照ください。

【URL】 : <https://5gmf.jp/news/5428/>

ARIB の動き

自営無線通信調査研究会 第 24 回会合を開催

自営無線通信に係る行政担当者、学識経験者、メーカー、ユーザが集まり、自営通信を取り巻く内外の技術動向、利用動向などについて調査し、自営無線通信の高度化について検討する「自営無線通信調査研究会」第 24 回会合が、約 40 名の参加のもと 10 月 13 日 (木) に Web 会議で開催されました。

今回の会合では、最新の施策動向として、JVC ケンウッド 無線システム事業部 渡川洋人 シニアマネジャーより「400MHz 帯デジタル簡易無線局の帯域拡張及び高度化のあり方に関する調査検討」についてプレゼンテーションがありました。

また、自営無線通信技術の高度化として、海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 基盤技術研究開発グループ 石橋正二郎 主任研究員より「1Gbps×100m 超高速海中光ワイヤレス通信に成功」についてプレゼンテーションがありました。

いずれのプレゼンテーションに対しても多くの質問、コメントが寄せられ、活発な意見交換がなされました。

本研究会では、今後も引き続き、自営無線通信を取り巻く政策動向や技術動向について調査研究を進めていく予定です。

第 299 回 業務委員会を開催

第 299 回業務委員会を開催しました。

1. 日 時 : 2022 年 10 月 12 日 (水) 15 時 30 分～16 時 35 分
2. 場所・形態 : 当会第 2、3 会議室 (Web 会議併用)
3. 議 題 :
 - (1) 定時総会・理事会等の日程について
 - (2) 第 119 回規格会議の結果について
 - (3) APT 無線グループ第 30 回会合 (AWG-30) の概要について
 - (4) 第 9 回グローバル 5G イベントの開催について
 - (5) 第 28 回 ITS 世界会議 ロサンゼルス 2022 の概要について
 - (6) IBC2022 の概要について
 - (7) 各社からのトピックス
 - (8) その他

今週の ARIB 内会合 (10 月 17 日～10 月 21 日)

- | | | |
|---------------|-------------------------------|----------|
| 10 月 18 日 (火) | : デジタル放送システム開発部会 高度化放送導入方式作業班 | Web 会議 |
| 10 月 19 日 (水) | : 第 64 回無線 LAN システム開発部会 | Web 会議併用 |
| 10 月 19 日 (水) | : スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班 | Web 会議 |
| 10 月 21 日 (金) | : スタジオ設備開発部会 次世代音響スタジオ規格 TG | Web 会議 |

今週の国際会合 (10 月 17 日～10 月 21 日)

- 10 月 10 日 (月) ～10 月 21 日 (金) : ITU-R WP5D (スイス・ジュネーブ) Web 会議併用

総務省などからのお知らせ

「Beyond 5G 国際カンファレンス 2022」の開催

【令和 4 年 10 月 12 日発表】

「Beyond 5G 推進戦略 -6G へのロードマップ-」(令和 2 年 6 月)に基づき、総務省は Beyond 5G 推進コンソーシアムと共催で、Beyond 5G 推進に向けた産学官の取組の加速化と国際連携の促進を図るため、「Beyond 5G 国際カンファレンス 2022」を開催します。我が国及び海外の

産学官それぞれの観点からの Beyond 5G 推進に向けた取組の共有や Beyond 5G 推進に必要な研究開発等の要素についての国際的な視点からの議論を通じて、Beyond 5G 推進に向けた産学官による国際連携について検討します。

1 日程

令和 4 年 10 月 24 日（月）13:30～17:30、25 日（火）9:30～16:45

2 開催方法

現地開催及びオンライン開催の併催

3 場所（会場）

ホテルニューオータニ東京（東京都千代田区紀尾井町 4-1）鶴の間

4 開催内容/参加方法

参加登録、プログラム等の詳細は、「Beyond 5G 国際カンファレンス 2022」

事務局が設置する以下のウェブサイトをご確認ください。

※申込期限：令和 4 年 10 月 21 日（金）16:00

※会場参加は先着順でのご案内です。

※会場参加者が定員超過の場合はライブ中継視聴をご案内致します。

ウェブサイト：<https://www.beyond5g-conference2022.jp/>

詳細については [【令和 4 年 10 月 12 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

令和 4 年度当初予算「Beyond 5G 研究開発促進事業 （電波有効利用型）」に係る研究実施者の公募（第 2 回）

【令和 4 年 10 月 13 日発表】

国立研究開発法人情報通信研究機構は、令和 4 年度当初予算による「Beyond 5G 研究開発促進事業（電波有効利用型）」に係る研究実施者の公募（第 2 回）を開始しました。

1 目的

Beyond 5G 研究開発促進事業（電波有効利用型）は、2030 年代のあらゆる産業や社会活動の基盤となる次世代の情報通信インフラ Beyond 5G の実現に向けて、電波の有効利用を促進する観点から必要な要素技術の確立等のための研究開発を推進するものです。

2 事業の概要

総務省では、Beyond 5G において求められる機能（超高速・大容量、超低遅延、超多数接続、超低消費電力、超安全・信頼性、拡張性、自律性）を柱とした要素技術について、「Beyond 5G 機能実現型プログラム」、「Beyond 5G 国際共同研究型プログラム」及び

「Beyond 5G シーズ創出型プログラム」により、民間企業や大学等への公募型研究開発を実施しています。

このうち、電波利用料による Beyond 5G 研究開発促進事業（電波有効利用型）は、電波法第 103 条の 2 第 4 項第 3 号に規定する研究開発を実施するものです。

事業の詳細は、[「Beyond 5G 研究開発促進事業研究開発方針（令和 4 年 6 月 10 日改定）」](#)をご参照ください。

3 公募の内容

国立研究開発法人情報通信研究機構（以下「NICT」という。）において、令和 4 年度当初予算による「Beyond 5G 研究開発促進事業（電波有効利用型）」に係る研究実施者の公募（第 2 回）を次のとおり行っています。

なお、本公募による研究開発は、電波法第 103 条の 2 第 4 項第 3 号に規定する研究開発のみを対象とします。

公募対象：

「Beyond 5G 機能実現型プログラム」（基幹課題）

- ・ Beyond 5G における高度 RAN 基盤を実現する Open RAN 無線通信技術の研究開発【課題 065】
- ・ Beyond 5G 次世代 V2X 通信向け協調型無線通信技術の研究開発【課題 066】
- ・ Beyond 5G 宇宙ネットワーク向け未利用周波数帯活用型の無線通信技術の研究開発【課題 067】

公募期間：

令和 4 年 10 月 13 日（木）から同年 11 月 11 日（金）正午まで（必着）

詳細については、[【令和 4 年 10 月 13 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

また、NICT の下記 Web ページも御参照ください。

<https://www.nict.go.jp/press/2022/10/13-1.html>



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp